

国内の太陽光発電事業を投資対象とするファンドの設立

2024年5月1日
関西電力株式会社

当社は、本日、国内の太陽光発電事業を投資対象としたKXリニューアブルエナジー1号投資事業有限責任組合（以下、本ファンド）を設立しました。当社が再生可能エネルギー電源を投資対象としたファンドを設立するのは、今回が初めてとなります。

本ファンドのファンド規模は100億円で、存続期間は25年となります。

また、本ファンドの目的は、投資家に対してESG投資の機会を提供しつつ、価格競争力の高い再生可能エネルギー電源を開発し、再生可能エネルギー由来の電力と環境価値を需要家に提供することによりゼロカーボン社会の実現に貢献することです。

関西電力が出資するKXリニューアブルエナジー合同会社がファンド運営を行い、コーポレートPPAを行う太陽光発電事業へ投資を行います。また、三菱UFJモルガン・スタンレー証券と連携して、太陽光発電事業に関する投資機会を提供します。

以上

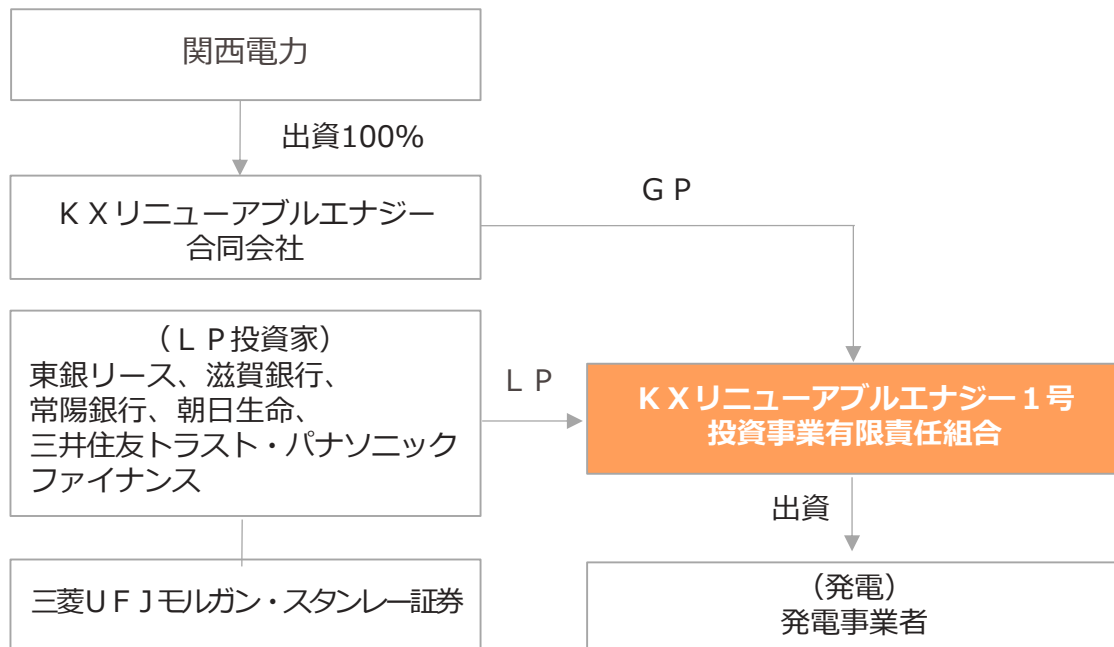
別紙：KXリニューアブルエナジー1号投資事業有限責任組合の概要

KXリニューアブルエナジー 1号投資事業有限責任組合の概要

■ ファンド概要

ファンド名	KXリニューアブルエナジー1号 投資事業有限責任組合
設立年月	2024年5月1日
投資対象	国内の新設太陽光発電事業
出資者	無限責任組合員： KXリニューアブルエナジー合同会社（関西電力出資） 有限責任組合員： 東銀リース、滋賀銀行、常陽銀行、朝日生命、 三井住友トラスト・パナソニックファイナンス
ファンド規模	100億円程度
存続期間	25年

■ 投資スキーム



※財務コンサルタントとしてPwCアドバイザリー合同会社が関与